

☆2019年度スピーチコンテスト4年生スタッフ9名と 出場者2名の率直な感想

1. 総監督

英語英文学科4年 窪内大輔

スピーチコンテストは多くの大学生活の青春でした。1年生の時からスタッフとして4年間携わってきたスピーチコンテスト。なかなか学部内で先輩や後輩と交流をもつことは難しいですが、スピーコンを通じて仲を深めることができました。また、同級生とも毎年のスピーコンで男女の垣根を越えて楽しく運営することができたと思っています。スピーチコンテストは英文科で唯一先輩後輩と仲良くなれる、そういう場だと思っています。少しでも興味を持つて人、持った人はぜひスピーカーやスタッフとして参加して欲しいです。学生生活の一生の思い出になるはずですよ！

2. 総監督

英語英文学科4年 小林真理

今回のスピーチコンテストは思い出深いものとなりました。1年生のときにスピーカーとして参加してから4年間この行事に関わってきましたが、今回総監督という役職を務めることができたのも、ずっと一緒にいた友達やゼミの先輩、そして協力してくれる素晴らしい後輩がいたからだと思っています。スピーチコンテストは文化祭のような雰囲気味わえるとともに先輩や後輩、そしてなにより同期との仲を深めるとても良い機会です。この機会を通してできた友達や先生方との人脈は学生生活、そして卒業後の生活にも欠かせないものとなっています。先輩方が仰っていたように、「スピーコンは青春」だと思います。それぞれが役職をこなしながら、一緒にご飯を食べ過ぎていたりハハサルの時間はかけがえない思い出です。もちろん、今年も細々とした仕事やハプニングもありましたが、何より関わった学生達がスピーコンを楽しむことができて本当に良かったです。

3. 総監督

英語英文学科4年 服部航士

私は、最初の二年間はスピーカーとして、三・四年生ではスタッフと総監督を務めさせていただきました。このような貴重な経験を通して、一年生から四年生までの英語英文学科としてのまとまりを、強く感じる事ができました。スピーカーとして携わったときは不安も多かったですが、先輩方の力を借りて、無事に発表を終えることができ、四年次に総監督を務めた際には、その経験を活かして、どの役職の後輩も不安にならないように、たくさんのコミュニケーションをとりました。1〜4年生になるにつれて、スピーコンは、自分も含めて、多くの成長を遂げることができる舞台だと感じました。スピーカーやスタッフだけでなく、お世話になった先生方、聴衆の皆さんにも感謝です！

外国語学部 英語英文学科 4年

窪内大輔 小林真理 服部航士 和泉裕紀 細根ひらり
宮本晏奈 杉山優希 ランバートジュリア 芽衣
中俣翔太 樋口星奈 松尾充朗

4. 司会担当

英語英文学科4年 和泉裕紀

みなさん、ほんとうにありがとうございました！
本番は緊張のせいで5分喋ったくらいにしか覚えていないものの、ひじょうに大きな達成感がまだあります。陳腐な表現ですが準備期間が例年通り最高でした。繰り返しになりますが、コンテストに関わった皆様に感謝です！

5. 司会担当

英語英文学科4年 細根ひらり

初めてのスピコンスタッフは一言で「青春」でした！初心者にとって、司会として表舞台に立つ緊張は尋常じゃなく、直前まで死ぬ程ビビったこと以外は、みんなとわちゃわちゃして、仕事して、最高に充実！やり遂げて大満足！とっても貴重な経験でした。

6. 会計担当

英語英文学科4年 宮本晏奈

今回のスピーチコンテストもとても楽しかったです。私は4年間スタッフとして携わってきましたが、毎年違う感動があつて、いつもこの時期が一番楽しかったです。スピコンは私にとって大学生活の大きな思い出のひとつです。

7. 会計担当

英語英文学科4年 杉山優希

スピコン期間中は毎日が楽しく充実しており、4年間を通して青春そのものでした。そしてスピーカーとスタッフが一丸となって成功させようという想いが溢れる行事。スピーチはどれも心打たれるものばかりでした。

8. 出場者担当

英語英文学科4年 ランバートジュリア芽衣

心から参加して良かったと思います。今回皆がしきりに「スピコンは青春」と言っていました。高校までとは違い、自分から名乗りでる必要があるからこそ大きな意味をもつし、必ず最高の思い出と仲間を作ることが出来ます。

9. 審査員担当

英語英文学科4年 中俣翔太

スピコンのスタッフをやらないか？と言われて断らなかつた1年生の自分を褒めてやりたいです。文化祭の準備期間のように楽しくやりがいのあるスピコンというイベントはもちろん、スピコンで出会った先輩や同期、後輩たちは大学で得た大きな財産です。スピコンのおかげで大学生活を充実したものにできました！

10. 3位入賞

英語英文学科4年 樋口星奈

スピーチコンテストへの出場は今までで3回でしたが、毎回違う気持ちで臨んでいました。1回目の出場は出てみようという軽い気持ちで、2回目は優勝したいという強い気持ちで、そして3回目は自分の伝えたいことを伝えたいという気持ちでした。悔しい思いもたくさんしましたが、得るものも多くありました。私の大学生活1番の思い出です。

11. オーディアンズ賞受賞

英語英文学科4年 松尾充朗

4年次で初めて参加したスピーチコンテスト。最初はスピーチコンテスト担当の先生にしつこく勧められてのいやいやの参加だった。しかし、練習が始まって練習をしていくうちにいろいろなことに気が付かされた。その中でも一番再認識させられたのは、「人」との関りの大切さだ。夜遅くまで一緒に練習に付き合ってくれた学友たち。自分のつたないスピーチに指導をくださった先生たち。こういった周りの人の協力がなければ自分は何もできなかっただろう。いろいろなところで自分は助けてもらっていたんだな、そう再認識させられたスピーチコンテストだった。